

# ふれあい

2012

# 10

No.307

牛久愛和総合病院 広報誌



## 「耐震化新棟」と「からだ情報館」

院長 高崎 健



本院は昭和53年開院後、最高の医療・福祉を提供することを基本理念として活動し、今日まで地域の皆様にご利用いただき発展して参りました。この間二度の建家の増築が行われ、三つの病棟が連結した形になっていました。この内開院当初からのC館が麻生内閣で決定された耐震化計画の対象に適合しており、その後の民主党政権下での事業仕分けをすり抜け、平成21年度補正予算での医療施設耐震化臨時特別交付金の補助事業として建て直しが決定しました。昨年10月28日に起工式が行われ建築が進められてきました。が、この度第一段階の工事として耐震化された新棟（C館）が完成いたしました。尚今後引き続き一連の工事としてA館、B館内の改装工事が行われますので、今しばらくご迷惑をおかけすることがあるかと思われますがよろしくご

理解をいただきたくお願いいたします。新棟（C館）には外科系の診療科外来（整形外科、総合外科、乳腺外科、消化器外科、脳外科、形成外科、泌尿器科、口腔外科、眼科、産婦人科）が配置され、より便利でしかも快適に過ごしていただける外来となることを目指しております。また院内の一角に、社会に向けた医学医療情報の発信拠点としての施設として「からだ情報館」を設けました。

添って実地診療が進められる場面が増えて来ます。医師からの十分な説明が基本でありますが、ある程度の医学医療の知識を持つていなければインフォームドコンセントも成り立ちません。また複雑な医療介護支援の仕組み、用いられる器具などの選択なども日常的問題であります。確実な情報が得にくい状態です。これらの問題に対応するための役割を考えています。

「からだ情報館」とは。

病院としては常に最新最良の医療を安全に地域の方々に提供することが当然の使命であります。同時に多くの医療情報が集積されています。これらを社会に向けて発信する役割も持つべきであると考えております。そこで今回の改築に当たりこれまでの病院にはなかった新しい機能を持った施設として「からだ情報館」を設けた次第です。

患者さんばかりではなく地域の方々に利用していただき、社会に開かれた病院としてお役に立てるよう願っています。

社会の営みの変化に伴い、医療の現場で患者さん自身の判断が求められたり、希望に

具体的には\*医療医学情報  
を検索出来る医療図書館、\*  
医療・介護に関する相談、\*  
医療介護用器具の展示と相談、\*  
各種セミナー、健康に関連した教室の開催、\*地域の種々グループ活動のためのスペースの解放などを考えております。

になりようにご提言などもいただきたいと希望しております。

# 病理解剖の必要性

特任副院長 瀬口 雅人

病理解剖とは、お亡くなりになった患者さんの、死因究明や治療効果がどうであったかなどを調べるために死後に病理医によって行われるものです。直接患者さんの臓器を取り出して、観察し、標本を作り、顕微鏡で観察し、亡くなった患者さんの病態を明らかにしていきます。その結果は、臨床病理カンファレンスを開き、臨床医（主治医）に feed back され、臨床診断、治療の向上に寄与されます。20世紀の初め、診断技術の低い時代は、病理解剖を通して、臨床診断の誤りが指摘され、医学の発展、医学教育の向上のためにかかせぬものと位置づけられて来ました。近年はCTやMRIなどの画像診断の進歩による診断技術の向上により、臨床医の病理解剖に対する関心が低くなり、剖検率も低下する傾向にあります。

す。しかしまた病理解剖によってのみ、進歩した画像診断の間違いを正すことができるのも紛れもない事実であり、現在も病理解剖の重要性はいささかも薄れておらず、臨床教育病院の評価基準のひとつとして剖検率が上げられている程です。ご遺族にとつては、大切なお身内が亡くなった上に、解剖に承諾されるというのはとてもつらい決断です。長くお付き合いした主治医もその気持ちは十分にわかるため、非常にお願いくい中、医学の進歩、何より自分自身の研鑽と向上のために、病理解剖をお願いをします。真実を明らかにしたいという思いは、主治医もご遺族も共通して持つ思いであり、病理解剖はそれに対するひとつの答えであると考えています。



# 看護のエキスパート！

## 認定看護師とは？

看護次長 三村 里美

最近、耳にする機会も多くなった認定看護師ですが、内容は知らないという方が多いと思います。認定看護師とは、実務経験5年以上（うち3年以上は認定を望む疾患の分野）の経験者が、教育課程を担う機関を受験し、合格後6ヶ月・600時間以上の教育を受け、日本看護協会の認定看護師認定審査（筆記試験）に合格したエキスパート達です。合格後は、その分野において熟練した看護技術と知識を用い自ら水準の高い看護実践を行うことはもとより、現場では患者さん・ご家族のみならず、スタッフに対しても「実践・指導・相談」の3つの役割を果たし、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献します。現在特定されているのは全21分野です。当院では、自ら進んで資格取得を目指す看護師に対し、安心して教育が受けられるよう受講中の保証やサポートの充実を図る努力をしています。その甲斐あって現在5分野計6名（がん化学療法看護1名、摂食・嚥下障害看護1名、糖尿病看護1名、皮膚・排泄ケア1名、脳卒中リハビリテーション看護2名）の認定看護師が誕生しています。それぞれの役割や今後の「ふれあい」にて各自紹介してもらいましょう。お楽しみに。



# 『第29回』生活習慣病教室

テーマ

脳卒中について

日時 11月20日(火)

14時30分から約一時間

講師

脳神経外科

中本 英俊医師

会場

牛久愛和総合病院 B館2階 大ホール

参加費 無料

今回は、脳梗塞や脳出血のお話です。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。



◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話

029-873-3111(代)

# 春秋園だより

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は九月十七日から二十日に通所リハビリにて行われました『敬老会』についてご紹介したいと思います。

紅白幕の張られたおめでたい雰囲気の中、賀寿の方・九十一歳以上の方を表彰させていただきました。普段は車椅子で過ごされる方も、この時

ばかりは職員に支えられながらもご自分の足でしっかりと立ち、表彰状を受け取られました。



賞状を受け取った後の皆様からのひとは、いつもの会話では聞くことが出来ない様な貴重なお話をいただきました。

表彰式の後にはボランティアさんによる歌、大正琴やオカリナの演奏、職員の手品、利用者様によるカラオケ大会を楽しまれました。

利用者様の凛とした表情や笑顔を見られた一週間となりました。

今後も利用者様に喜んでいただけるような行事を催していきたいと考えていますのでお楽しみに。

(通所リハビリ職員一同)

## 知って得するシリーズ①

### 高額療養費制度

病気にかかる医療保険を使い1割や3割負担だとしても医療費がどれくらいかかるのか？高額になったらどうしようか？と心配される方は多いことでしょう。そのような時に助けとなる制度が高額療養費制度です。

額が決められている制度です。自己負担限度額を超えた場合には、その超えた部分が公費で支払われる制度です。

この制度を上手に利用すると入院、外来ともに窓口での支払いを自己負担限度額までに軽減することができます。

制度の利用にあたっては手続きが必要となりますので、会計窓口、医療福祉相談室にお問い合わせください。

#### 【自己負担限度額】

- 70歳以上（一般所得）  
入院 44,400円  
外来 12,000円
- 70歳未満（一般所得）  
入院外来80,100円＋  
(医療費ー267,000) × 1%

※住民税非課税の方、70歳以上課税所得145万円以上の方は70歳未満月収53万円以上の方は別に上限額が決められています。

(医療福祉相談室)

## 入職者

9月1日付

### ■ 看護部

看護師 菊地 彩子

新しい職場に不安も多いですが、自分らしさや笑顔を忘れずやっていきたいと思えます。

看護師 志澤 恵

新しい職場に早く慣れ患者様によりよい看護が行えるよう日々努力していきたいと思えます。

准看護師 坂入 洋子

心機一転し真つ白な心を持つて先輩方のご指導をもらいたいと思えます。

### ■ 生理検査科

臨床検査技師 村瀬 里美

みなさんが安心して検査を受けられるように的確で正確な検査を行うことを心がけます。

### ■ 総務課

森 友照

DIYのノウハウを活かして営繕に取り組みますので細かいこ

9月16日付

### ■ 看護部

看護師 岩本 亜宮

一所懸命、精一杯それを合言葉に誠心誠意、尽くします！

9月18日付

### ■ 生理検査科

臨床検査技師 神原 貴絵

幼稚園年長と2歳の男の子の母親です。職場では恐い顔をせず笑顔でいたいと思っています。

《出来事ピックアップ》

お月見集会

10/1



10月1日、お月見集会をしました。はじめに年長さんが秋の収穫物を運び一人一人持ってきた食べ物の名前を元気に言いました。そのあと、保育士による人形劇です。6匹のたぬきが登場しいろんな音の腹づつみに笑い声がいつぱいです。そして、いよいよお待ちかねのおだんご作りを小さい子から年長さんまで挑戦しました。おやつ時間は、おだんごをおかわりする姿も多く見られ、楽しい1日となりました。

第14回愛和健康まつり開催決定

10月28日(日) 10:00~15:00  
場所 A館・B館及び新C館

恒例の「愛和健康まつり」が、10月28日(日)に開催されます。皆様の健康管理、生活習慣病の予防のお手伝いを致します。今回は新棟も使って開催致しますので是非おいで下さい。

- ・ 無料測定・検査
- ・ 無料相談
- ・ 病院見学ツアー
- ・ スポーツリラックス パフォーマンスショー
- ・ 模擬店
- ・ フリーマーケット (出店者は事前申込が必要)
- ・ 子供ゲームコーナー
- ・ 白衣試着コーナー等

入場無料です。たくさんの方のご来場を職員一同お待ちしております。

お問い合わせ先  
健康まつり実行委員会  
電話 029-873-3111

編集だより

暑かった夏も終わり、すがすがしい季節となりました。スポーツ、読書、食欲といろいろな秋がやってきます。インフルエンザもやってきます。健康に注意して、秋を満喫しましょう。(S・K)

**病院理念** 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

**病院概要**  
病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

**施設**  
敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1032台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)  
小児科(小児循環器、小児心理)  
循環器(心臓血管外科)  
形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)  
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

